

研究課題名：

新型コロナウイルス培養系の確立とゲノム解析への応用

研究の目的と方法：

現在、北海道立衛生研究所では新型コロナウイルス陽性となった感染者の検体を用いてゲノム解析を行い、ウイルス型の判定等を行っていますが、ウイルス量が少ない検体では判定不能となることがあります。そこでそのようなウイルス量が少ない検体でもゲノム解析が可能となるように、ウイルスを培養することによってその量を増やした後にゲノム解析に用いることを目指しております。

本研究の成果は新型コロナウイルス感染症対策に直接的に繋がり、公衆衛生の向上が期待されます。得られた研究の成果を報告書、学術雑誌、学会などへの発表に使用しますが、お名前や生年月日など個人が特定できるような情報が公開されることは一切ありません。また、対象となる患者様への不利益や介入もありません。

北海道に住む皆様の安全・安心に寄与できるよう、私ども北海道立衛生研究所が主体となって感染症対策に取り組んでまいりますので、何とぞご理解を賜りますようお願い申し上げます。

研究の対象者及び対象期間：

2020年1月1日から2024年3月31日の研究終了までに、保健所、医療機関、研究機関などを通じて北海道立衛生研究所に新型コロナウイルス感染症の検査目的のために検体が搬入された感染者。

研究に利用する試料・情報：

新型コロナウイルス感染症の検査のために北海道立衛生研究所に提供された検体の残りを用います。個人の特定に繋がらない形で疫学情報、診療情報（発症日、試料採取日）を解析に用います。

研究機関：

北海道立衛生研究所

試料・情報の管理について責任を有する者：

試料の管理：健康危機管理部	健康危機管理グループ	主査 大久保 和洋
情報の管理：健康危機管理部	健康危機管理グループ	主査 大久保 和洋

利益相反について：

本研究に関連し、開示すべき利益相反状態にある企業等はありません。

お問い合わせ先：

北海道立衛生研究所

大久保 和洋

〒060-0819 北海道札幌市北区北 19 条西 12 丁目

TEL：011-747-2711 FAX：011-737-9476